

同窓会だより 37

■応化同窓会総会の開催に関して

応化同窓会幹事会において、6月開催予定のホームカミングデー in 川越に合わせて、総会開催を検討して参りましたが、皆様ご存知のように、日本国内の新型コロナウイルス

ウイルス感染の状況については、今のところ諸外国のような、オーバーシュート

(爆発的的患者急増)は見られていないが、都市部を中心にクラスター感染が次々と報告され、感染者数が急増していることから(4/1 厚労省発表)、感染拡大防止のために、「3つの密」を避けるための取組の徹底などが進められています。

従いまして、今期応化同窓会総会の日程は、**開催未定**とさせていただきます、
お願い申し上げます。

日本国内の感染状況を考慮しながら、11月開催予定こもれび祭での総会実施検討をして参りますので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。

なお、今後の総会開催に関するご案内は、応化同窓会ホームページ(URL <http://toyo-ouka.com>)に掲載予定ですので、ご確認いただけますようお願い申し上げます。

応化同窓会会長 齋藤 誠

■役員改選のおしらせ (2020.04～)

会長	齋藤 誠
副会長	関本晃男、又重英一
会計	田中与寿、相沢宏明
監査	伊藤貞三、大熊廣一
事務局 学内	石井 茂(同窓連絡協議会委員兼務)、相沢宏明、峯岸宏明
	学外 遠山光雄、佐藤義浩
幹事協力員	関子田早身、古谷 進

敬称略

■応用化学科同窓会ホームページ facebook のお知らせ

過去や今後の活動 会報 校友ひろば等を掲載しております。皆様の利便性や交流の場としてお使い下さい。また、何かご要望等御座いましたらご連絡ください。

URL <http://toyo-ouka.com/> FB 東洋大学応用化学科同窓会 ご検索下さい。

東洋大 HP より卒業生の方 川越キャンパス同窓連絡協議会内各学科同窓会から御覧頂く事が出来ます。

同窓会だよりをこれまで郵送で発送して参りましたが、当37号から HP 上にアップする方式に今後変更してまいります。ご了承のほどお願い申し上げます。

■学生支援 2020年度 実践職業論

昨年に引き続き、楡井様、宮島様に学生支援としての実践職業論の講義をお願いしております。

実務に従事している卒業生のお話を聴いて、ものづくりのひろがりを知り、ものづくりのプロセスを知る／実務での姿勢、心構え、倫理、哲学の重要性を知る／将来のキャリアプランを描くことを支援しています。

春学期水曜 5限（16時30分から18時）全15回予定

第7回(5/27) 株式会社コロンプス 研究 楡井智子様 工学研究科応用化学専攻(2001卒)

第8回(6/3) 株式会社ヒダン 商品開発本部 宮島貴子様 応用化学科(2016卒)

※新型コロナウイルスの影響により、変更になる場合があります。

■2019年度応化同窓会賞報告

・秋学期卒業生<2019年9月> なし

・春学期卒業生<2020年3月>

柿沼 孝弦 (カキヌマ タカオ) 「*Fusarium graminearum* における新規自己耐性機構の検証」

食品生物化学研究室 (担当教員: 安藤先生)

工藤 美祈 (クドウ ミノリ) 「中国産岩塩から分離された新規好アルカリ性古細菌の分類同定」

生命工学研究室 (担当教員: 峯岸先生)

森本 康介 (モリモト コウスケ) 「細胞間コミュニケーションの可視化を指向した金属イオン応答性センサフィルムの開発」 分析化学研究室 (担当教員: 佐々木先生)

岩崎 七海 (イワサキ ナナミ) 「アナモックス反応に及ぼすメタノール阻害メカニズムの解明」

環境工学研究室 (担当教員: 井坂先生)

高萩 香奈子 (タカハギ カナコ) 「酸塩基中和滴定法によるマリモカーボン表面の酸素含有官能基の定量」 ダイヤモンド研究室 (担当教員: 蒲生先生)

■ご退職のご挨拶

退職にあたり

佐々木 直樹

お世話になりました。着任前の卒研テーマ説明で、3年生に「先生、ここがどんな所かわかってるんですかー」と言われたことが懐かしく思い出されます。配属を希望する学生に異動の可能性を問われたことも幾度かありました。どうやら学生には先見の明があったようです。

本学での日々を振り返りますと、配属学生には総じて恵まれていたように思います。成績が良いとか実験が上手といったことではなく、研究へその人なりに真剣に取り組み、何かしらの成長を遂げていたと思います。

学生と一緒に夢中で走り抜けた7年間でした。その先には新しいスタートラインが引かれていました。心機一転、これまでも増して教育と研究に尽力していく所存です。応用化学科の益々の発展を心よりお祈りしております。

■卒業生の活躍と教員人事

田代基慶先生：東洋大学理工学部 教授にご昇格

■研究室紹介 **第4弾** 大気化学研究室 担当：泉 克幸先生

東アジアを中心とする大気汚染が深刻化しています。当研究室では、オゾンや二酸化窒素(NO_2)など重要度が高い大気汚染物質をターゲットとした化学センサ開発の研究を行っています。この研究はもともと環境省のプロジェクト研究として始まったものですが、化学センサの特徴の一つである「選択性が高いこと」、「視覚による検知が可能であること」、「使用の簡便さ」を目指して、検出素子作成のための基礎研究を続けています。素子は、8 mm 角(厚さ 1 mm)の透明な多孔質ガラスに検出試薬を染み込ませただけの簡単なものですが、吊り下げて大気に暴露すると汚染物質と検出試薬の反応により、生成物が素子の内部に蓄積されて発色します。暴露した時間の長さや色の濃さから、汚染物質の濃度を大まかに判定できますが、吸光度を測定して2桁の濃度値を得ることも可能です。作成に成功した素子は、共同研究の成果であるホルムアルデヒド検出素子を含め、オゾン、 NO_2 、 NO_x 用の4種類ですが、1時間の曝露(大気汚染防止法で求められる1時間を求めることに相当)で環境基準濃度レベルの汚染物質を測定できる高感度のものです。

主な研究テーマ：

- 1) KI/ α -CD 含浸オゾン検出素子の高感度化の基礎研究(α -CD: α -シクロデキストリン)
- 2) KI/ α -CD 含浸オゾン検出素子に対する大気共存成分の干渉影響評価
- 3) グリース試薬含浸 NO_2 検出素子の高感度化の基礎研究
- 4) グリース試薬含浸 NO_2 検出素子を用いる NO 検出に関する基礎研究
- 5) 二酸化硫黄(SO_2) 検出素子の開発



図1 KI/ α -CD 含浸 O_3 検出素子
 O_3 曝露後に黄色に着色



図2 グリース試薬含浸 NO_2 検出素子
 NO_2 曝露後に赤紫色に着色

■寄付募集

新規会員の会費徴収が難しい状況が続く中、毎年このような会報で活動を周知しつつ、継続しております。今後更なる同窓会の発展、在校生への支援などさらに充実していく必要があると考えております。つきましては、趣旨をご理解いただき皆様のご支援とご協力を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。 郵便振替口座：00140-5-86601 口座名称：東洋大学応用化学科同窓会

■校遊ひろば

同窓会からの連絡だけでなく、会員皆さんの交流を円る「校遊ひろば」へのお便りをお待ちしております。皆様の現況、めったに会えない同窓生へ伝えたい事や同窓会へのご意見などお寄せください。このコーナーへの寄稿を機にみなさんの交流が新しく開ける事を期待します。原稿は、800字位で郵送にてお願いします。

宛先〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100 東洋大学応用化学科同窓会事務局 相沢まで

◎開設ホームページのトップページです。

(URL <http://toyo-ouka.com>)



東洋大学 応用化学科 同窓会

HOME 会長挨拶 会則・規約 活動報告 会報 一校遊ひろば

東洋大学応用化学科同窓会に参加しませんか？

応用化学科には、卒業生、教職員相互の親睦を深めるための「**応用化学科同窓会**」があります。学部、大学院の卒業生、教職員から構成されており、活動内容は会報の発行、講演会・同窓会等の開催を行っています。これらの活動は世代を超えた卒業生間の親睦を深め、川越キャンパス連合育成会にも加入しているので、社会で活躍していくうえで重要なネットワークを作る手助けとなると思います。また後輩への支援の一つとして毎年、「応用化学科同窓会賞」・「応用化学科同窓会奨励賞」として、奨励金の授与、表彰を行っています。4年生はこの**応用化学科同窓会の準会員**となっており、卒業後は**正会員**になります。会員からの寄稿文や大学の近状等を満載した会報「**同窓会だより**」の送付、講演会、総会・懇親会の案内等の連絡のため、卒業までに「住所調査カード」を出してもらいます。以上の様な同窓会の活動は、皆様から寄せられた会費を資金とし、卒業生有志が幹事となって運営しています。

東洋大学応用化学科同窓会会報 第37号

発行 2020年(令和2年)5月

発行所 東洋大学応用化学科同窓会

〒350-8585 川崎市鯨井2100 TEL 049-239-1370 FAX 049-231-1031

(応用化学科教務室)

URL <http://toyo-ouka.com>